

# 「Tokyoしごと倶楽部2010」の開催

## 専門学校コンソーシアムTokyoと東京都教育委員会の共催事業

7月28日(水)、池袋サンシャインシティで、小学生から高校生を対象にした仕事体験イベント「Tokyoしごと倶楽部2010」が開催されました。

このイベントは、11の専門学校が共同して設立した「専門学校コンソーシアムTokyo」と東京都教育委員会が共催して実施したものです。

現在、ニートやフリーター、雇用に関する問題など、青少年の自立が社会的な課題となっており、青少年が勤労観や職業観を身に付け、社会人・職業人として自立していくことができるようキャリア教育の推進が求められています。青少年が様々な仕事を実際に体験することによって仕事を理解し、早期から将来の進路について具体的に考える機会を提供することがこの取組の目的です。

広い会場には、11校の専門学校が、分野ごとに28種に及ぶ「仕事場」ブースを設置し、プロフェッショナルから直接仕事の手ほどきを受けるなどの職業体験の機会を提供しました。参加者は、好きな「仕事場」を何種類でも体験することができます。

夏休みということもあり、開会直後から親子連れの参加者や制服姿の高校生が大勢参加し、最終的には1500人の入場がありました。

小中学生にとっては、様々な仕事を楽しく体験する機会となりました。また、高校生が参加したブースでは、直接、職人さんと対話をしながら、仕事に必要な資格の取得方法や職種の雇用状況などについて、高校生が積極的に質問したりする場面も見られました。



アニメーションづくりの実際を体験してみる



習ったばかりのネイルアートをお母さんにしてあげる



トリマーに挑戦

### 主な「しごと」体験

- ◎アニメーションキャラクターをつくる◎建築士資格取得に必要な演習に挑戦◎トリマーの実習◎うどんづくりやフルーツポンチの調理実習◎ブティックのディスプレイをコーディネートする◎エンジンの分解と組み立てに挑戦◎保育実習の体験◎手作り食器づくり◎ヘアメイクやネイルアートの体験等

参加した高校生の1人からは「職人さんの手さばきの見事さには本当に驚きました。ここまで技術を身につけることができるのであれば、就職する選択もあるのかもしれないと思いました。」という声も出ていました。

会場に来ていた高校の先生は「今、仕事を直接体験できる機会は減多にないので、1年生の生徒の夏休みの課題に位置づけました。生徒が早いうちから進路を具体的に考える機会として貴重だと思います。」と話していました。

## 松澤保さん（専門学校コンソーシアムTokyo事務局長）

全国専修学校各種学校総連合会会長中込三郎氏が「専門学校の唯一最大の目標は職業人教育である」との言葉を述べています。まったく同感です。若者はいつか、自分の生業で職業人として社会に出て行く必要があります。昨年に引き続き、2回目の開催となった「Tokyoしごと倶楽部」を通して、将来の「しごと」を考えるきっかけになったものと自負しています。専門学校、行政、企業が全国で同様の事業を企画実施し、若者の職業意識を醸成させることが大切かと考えます。

### 専門学校コンソーシアムTokyo

異なる分野の専門学校が枠を超えて連携を図りながら、社会に貢献する豊かな人材育成に寄与することを目的に2008年に設立された。専門学校が長年培ってきた実績と人的な資源をフルに活用しながら、専門学校間の相互連携による専門教育の向上や、青少年に対するキャリア教育支援を目的とした社会貢献活動を行うことを目的としている。

<http://www.senmon-con-tokyo.jp/>

#### 【加盟専門学校】

- ◆ 専門学校東京工科自動車大学校 ◆ 専門学校東京テクニカルカレッジ ◆ 国際理容美容専門学校 ◆ 東京誠心調理師専門学校 ◆ 彰栄保育福祉専門学校 ◆ 専門学校中央工学校 ◆ 中央動物専門学校 ◆ 日本電子専門学校 ◆ 服部栄養専門学校 ◆ 目白ファッション＆アートカレッジ ◆ 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ